



アルコール依存症治療のご案内



当院では、アルコール依存症の治療を行っています。ご本人の希望や必要に応じて、入院治療も含め、病状に即した治療を提供させていただきます。

まずはお電話でお問い合わせください。

「依存症かもしれない」「お酒がやめられない」などお悩みのご本人を対象に、診察を行っています。ご家族のみのご相談も可能です。

ARP（アルコールリハビリテーションプログラム）：8週間の入院プログラム

アルコールが心身に与える影響について学んだり、これまでの生活を振り返ったりします。同じような悩みをもつ人たちと、困りごとを共有したり、これからの生活について知恵を出し合ったりします。

診察／LIFE-mini（全4回のプログラム）

定期的に主治医の診察を受けながら、飲酒の記録をつけたり、飲酒によって生じた影響を振り返ったりします。

プログラムでは、アルコール依存症についての知識を学んだり、お酒なしで生活していく方法を考えたりします。

依存症家族の会

依存症の問題でお困りのご家族に参加していただく会です。医師や精神保健福祉士・作業療法士・心理士と多職種のスタッフも一緒に、解決の糸口を探したり、情報を共有したりします。当院に受診されていない方のご家族でも参加が可能です。

入院治療プログラムの週間予定		
	午前	午後
月	作業療法	ZEROの会
火	作業療法	認知行動療法
水	病棟内活動	水曜プログラム
木	作業療法	ZEROの会
金	作業療法	運動療法
土	外出・外泊	
日	外出・外泊	

ZEROの会	医師の講義を聞いたり、アルコールに関するテーマでミーティングなどを行います。
認知行動療法	テキストを用いて、自分の体験を振り返りながら、アルコール依存症に関する理解を深めます。
水曜プログラム	院内断酒会、マインドフルネスなどに参加します。看護師による講義もあります。
運動療法	軽スポーツやストレッチ、ヨガなど、体力の回復を目指します。
外出・外泊	入院1週目より外出、4週目より週末外泊を行います。

お問い合わせは地域医療連携室まで

福岡県立精神医療センター 太宰府病院 TEL：092-922-3137